

2 学期制と教育達成

横浜国立大学国際社会科学部博士課程後期

渡邊 智美

watanabe-tomomi-cx@ynu.ac.jp

2012 年 1 月

要約

本研究では、カリキュラム変更による学習のタイミングの変更が、教育達成に与える効果を分析する。東京都教育委員会の「児童・生徒の学力向上を図るための調査報告書」より、記載の学力テストの得点を従属変数とし、学習のタイミングの変更の変数とする東京都の市町村別の 2 学期制を取り入れている小学校の割合を学習のタイミングの変更の変数とする分析を行った。脱落変数の問題を考慮し、差の差推定を行った。分析の結果、2 学期制導入は教育達成に効果がないことがわかった。